

能摯之、其雛則微弱、爲鷹鷂所獲耳、

〔大和本草<sup>十五</sup>〕鷹 鷹鷂方ヲ案ニ、鷹ノ類三種アリ、鷂ノ類鷹ノ類、鷲ノ類ナリ、今案ニ白鷹、鷂角鷹

ハ鷹ノ類也、中上ニハ角鷹ヲモ養テ鳥ヲトラシム、隼サシバナドハ鷂ノ類也、鷲等ハ鷲ノ類也、

鷹鷂ノ二類ニハ教テ鳥ヲトラシム、鷲ノ類ハ教ヘテ鳥ヲトラシメズ、諸鳥ハ雄大ナリ、只鷹ハ鷂

大ナリ、此事中華ノ書ニモ見エタリ、雄ヲ兄鷹ト云、鷂ヲ弟鷹ト云、<sup>略</sup>鷹鷂方ハ朝鮮ヨリ來ル書

ナリ、鷹ノ事詳ナリ、定家卿ノ鷹ノ歌トテ三百六十首アリ、又西園寺實兼公ノ鷹ノ歌多シ、何レモ

鷹ノ事詳ナリ、

〔重修本草綱目啓蒙<sup>三十三</sup>〕鷹 タカ和名 ナラムラサキドリ古歌 マシラフ アカフトム

ラサキ コキドリ カンコドリ同上 一名蒼鳥楚辭 迅羽京選西 來鳩急就 猛鷲事

青鷲同上 凌霄郡君廣博 決雲兒異事 征鳥 凌霄君 曷之箇鷹方 曷里朶合同上

凡鷹巢中ニラル雛ヲ捉テ養フヲ、スダカト云、即北人多取雛養之ト云是ナリ、又罔ヲ以テ捉テ養

フヲトヤマチト云、即南人八九月以媒取之ト云是ナリ、又鷹ノ雛已ニ長ジテ、食ヲ求テ飛翔スル

ヲ見テ、樹間ニ網ヲ張り、死鳥ヲ其旁ニ置ケバ雛鷹來リ、死鳥ヲトランスル者ヲ羅シ捉ルヲ、ア

ガケト云フ、每歲夏末ヨリ漸ク毛落チ、冬ニ至リテ新毛生ズ、毛落ルヨリ出揃マデハ、トヤノ中ニ

入置テ使用セズ、コレヲトヤト云フ、一歲ヲ一トヤ、二歲ヲ二トヤ、三歲ヲ三トヤト云、一トヤノタ

カヲワカタクト云フ、廣雅ニ一歲名黃鷹ト云フ、二トヤノタカヲカタガヘリト云フ、廣雅ニ二歲

名撫鷹ト云フ、三トヤ以上ハオホタカトナルナリ、凡鷹ヲ使ハ雌者ヲ良トス、形雄ヨリ大ニシテ

性貪ル、故ニ能鳥ヲ捉ル、雌ナル者ヲ和名ニ大ト云フ、又弟トモ書ス、雄者ハ形雌者ヨリ小クシテ

貪ラズ、故ニ鳥ヲ捉ラシムルニ良ナラズ、雄ナル者ハ和名兄ト云フ、又小トモ書ス、即集解ニ雌則